

RKK Group Magazine りゅうかい RYUKAI



2018 No.284
新春号

謹賀新年

「場所 勝連城跡からの日の出」



夢とくらしと文化をはこぶ
琉球海運株式会社

琉球海運グループ

沖縄港運(株)
(株)沖縄輸送サービス

宮古港運(株)
(株)九州輸送サービス

八重山港運(株)
(株)きょうはい

沖縄荷役サービス(株)
国際輸送(株)

株 沖縄急送
琉海リース(株)

皆さん、明けましておめでとうございます。

た年でした。

二〇一八年の輝かしい新年をグループの皆様と共に迎えることが出来ましたことに感謝申し上げます。年頭に当たり、ひと言ご挨拶を申し上げます。

昨年の沖縄経済は、観光客がハイを上回り、四年連続で過去最高を更新する等、主要経済指標が復帰後最高を記録し、好調に拡大いたしました。

これを受け、我が沖縄航路は、各主要航路ともに前年を上回り、好調に推移いたしました。

当社グループにとって昨年は、大きな節目の年でした。

四十数年ぶりとなつた「しゅれいⅡ」及び「にらいかないⅡ」の連続建造に続き、「中城湾」と「糸満」に、大型総合物流センターの建設に着手する等、設備投資が集中して行われ

さて、今年はこの春、待望の「グループ経営ビジョン」が出来上がります。これまでも各社毎に、経営の目標や戦略はありましたが、グループ全十七社が共に目標とすべき方向、姿がここで示されることになります。これを機に、グループの皆様と更に連携を深め、共にその目標実現に取り組みたいと考えております。

さて、琉球海運では「グループ経営ビジョン」と連動して、「新中期経営計画」が今年からスタートします。これまでの三次九年に渡る中期経営計画の実績・成果を土台に、これを更に進化・発展させなければな

年頭のご挨拶

琉球海運株式会社

代表取締役社長 宮 城 茂



りません。

第一に、大きく前進・強化した船舶や物流施設の整備をなお一層進展させること。

第二に、台湾航路をはじめとした既存航路の拡充と、新規航路の実現可能性について検討すること。

第三に、人手不足やS.O.X規制など、急浮上してきた喫緊の課題にスピード感を持って取り組むこと。

第四に、今年末までに完成する「中城湾」と「糸満」両総合物流センターや、その他物流センター・プロジェクトの運営に万全を期し、一日も早くフル稼働させること等です。

これらは、いずれも我社及びグループの将来を方向づけるものであり、社員全員の叡智を結集して、取り組むことになります。

県経済は今年も堅調で、貨物需要も底堅く動くものと予想されます。経営環境は、今までになく恵まれて

いる方だと思います。そういう時だからこそ大事なことは我々がサービス業界に身を置いていること、そして海運業の特性を意識することです。すなわち「サービスの差別化がしにくうこと」、「限界費用が低く競争に晒されやすいこと」等です。世界の海運の近年の動きに、そのことが端的に現れています。沖縄航路も決して例外ではありません。それを乗り越えるには、お客様や地域に謙虚に感謝し、経営の原点である「お客様を大切にする」、「地域社会に愛される」、「社員が生きがいを感じる」我が社の三つの経営理念を、愚直に実践すること以外その答えはありません。

船舶の航行の安全と会社の発展並びに皆様とご家族にとつて輝かしい年となりますよう祈念申し上げ、年頭の挨拶とします。



代表取締役社長
島袋 完徹

沖縄港運株

らないと思っております。今後我がグループの創意が沖縄県の発展に大いに寄与するものと確信しております。

又中城湾港の定期船恒常運航の社会実験で琉球海運が選定され、昨年八月より中城湾港に「しゅれいⅡ」が寄港しており、更に今年十一月にはRKK中城総合物流センターも稼働します。

新しい年成年が始まりました。成年生まれの人は思いやりがあり、組織を引っ張つて行く力が有るそうですね。この様な年こそ沢山の子供が生まれることをおおいに期待します。

昨年を振り返りますと、沖縄県入域観光客数が大幅に増え上半期だけでも五百万を超えるしました。平成二十九年度は一千万人を超すものと思われます。

観光客増による消費の拡大と宿泊施設等の充実に向け県外からの物資輸送も大幅に増える中、新造船「しゅれいⅡ」と「にらいかないⅡ」が就航しました。今年は琉球海運グループが営業戦略をしっかりと確立し、一丸となつて常時船腹満載を目指して頑張つて行かなければなりません。

輝ける年になります様心よりお祈り申し上げます。



代表取締役社長
砂川 恵映

宮古港運株

しい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

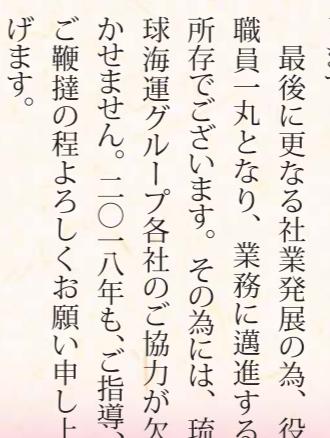
年頭にあたり一言ご挨拶申し上げます。

昨年は、年始からアメリカ、トルコ壁建造、難民受け入れ停止、IS壊滅、オバマケア撤廃などさまざまな政策を打ち出しました。北朝鮮では弾道ミサイルが日本上空を通過するという、危険極まりない行為が起こりました。「自國第一主義」が主流となってきた世界は、この先より一層不安に覆われてしまうことになるのでしょうか?

平和な世の中であることを切に願っています。

さて、琉球海運に於いては、八月にしゅれいⅡ、十一月に、にらいかないⅡの新造船二隻を就航し東京・大阪・沖縄航路の荷主へのサービスが一層充実するものだと期待しております。

また、今後完成する物流センターも、より良い計画のもと着々と進んでおります。グループ各社でより一層のアイディアを提供し、顧客へのサービス向上に努め、ますますの地域貢献に努めてまいります。



存でございます。
平良港内に於いては、昨年十二月十六日、平良港漁水地区複合一貫輸送ターミナルの供用も一部開始され、「入出港の難しい港」から改善されつつあります。

ヤードも拡張され、安定的な物流輸送・安全な貨物の受渡をスムーズに対応出来るよう試行錯誤しております。新バースにおいては更に安全衛生マネジメント・ハイインリツヒ法則の教訓を強化し、安全・安心・迅速に努めていく事をお約束いたします。

最後に更なる社業発展の為、役員一丸となり、業務に邁進する所存でございます。その為には、琉球海運グループ各社のご協力が欠かせません。一〇一八年も、ご指導、ご鞭撻の程よろしくお願ひ申し上げます。

職員一丸となり、業務に邁進する所存でございます。その為には、琉球海運グループ各社のご協力が欠かせません。一〇一八年も、ご指導、ご鞭撻の程よろしくお願ひ申し上げます。

国内では、衆議院選での与党の圧勝、また、自然災害の脅威に見舞われた一年で災害大国日本を印象付け、同時にインフラの老朽化が益々注目されています。

経済面に目をむけると世界、国内、県内共に堅調さが見られます。OECDによると世界経済成長率は二〇一七年三・五%、二〇一八年三・六%と右肩上がりの予測です。日本は一〇一七年一・四%、

八重山港運株

代表取締役社長
我那霸 宗善

また、琉球海運㈱殿のグループ戦略室主幹による、関連十五社が集まりグループ経営ビジョン策定に取り組んでいることも素晴らしい企画だと思います。各社それぞれ抱える課題は異なっていても、必ずや共通の指針にたどり着ける事を祈念しております。

沖縄県全般的に言えることでしようが、入域観光客数は依然として好調です。八重山ではさらに公共施設等を中心とした建設ブームも盛んです。その一方で、八重山での人手不足は深刻な状況になってします。

旧年中、グループ各社様には多大なるご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年の六月に我が社社長に就任して以来、いろいろな人・会合等に関わさせていただいております。「しゅれいⅡ」・「にらいかないⅡ」の就航披露祝賀会、「RKK中城総合物流センター」・「RKK糸満総合物流センター」の起工式への参加等々。これらのイベントはまさに琉球海運㈱殿の現勢力の象徴そのものに感じられました。関連グループの一員としてこの時期ここに関わることに誇りを感じるとともに感謝申し上げます。

結びに各社様のご繁栄と役職員・ご家族皆様のご健勝を記念して、新年のご挨拶といたします。

沖縄荷役サービス株

代表取締役社長
新垣 益幸

謹んで新年のお喜びを申し上げます。

旧年中は、グループの皆様には格別なるお引き立て、ご支援を賜りました。

昨年はトランプ大統領の一挙手一投足により世界が踊らされ、北朝鮮の核ミサイル開発、テロの脅威等、国際情勢の不安定さを印象付けました。

国内では、衆議院選での与党の圧勝、また、自然災害の脅威に見舞われた一年で災害大国日本を印象付け、同時にインフラの老朽化が益々注目されています。

経済面に目をむけると世界、国内、県内共に堅調さが見られます。OECDによると世界経済成長率は二〇一七年三・五%、二〇一八年三・六%と右肩上がりの予測です。日本は一〇一七年一・四%、

二〇一八年一・〇%と世界経済には劣るものとのプラス成長は見込み、TPPやRCEPによる貿易の活性化、法人税減税等、今後の政府の政策次第で更なるプラス成長が望めます。

県内成長率は年度で一・六%（前年度二・二%）が見通され、景気は「拡大」と言えます。失業率も三・四%まで改善され実質完全雇用になりました。

好景気は当面続くでしょう。大型プロジェクト、消費税引上げ前の需要、また、「アジア戦略構想」の進展も追い風となります。なによりも、琉球海運にて二隻の新造船や総合物流体制の始動がグループ各社にとってこの上ない戦力であり、明るい展望です。

弊社では人財をテーマに「少数精銳」を合言葉とし経営に取組んでまいりました。グループの皆様の支援もあり、前年比人員は減少ながらも大幅増収増益が見込めます。引き続きグループに貢献すべく邁進してまいります。

政府は昨夏に「総合物流施策大綱」を閣議決定し、「強い物流」を実現する為(つながる・見える・支える・備える・革新的に変化する・



十一月十三日(月)新造船「にらいかないⅡ」の船内見学会が行われ、関係会社を始め各業界から四〇〇名を超えるお客様にお披露目されました。

「にらいかないⅡ」は東京—大阪—那覇航路に就航し、環境

に配慮した低燃費型主機関の採用、徹底した省力化設備、総トン数・全長ともに沖縄航路最大のR.O.R.O.船となつており、お客様の多様なニーズに応え得る基盤となっています。

十一月十三日(月)

那覇市内のホテルにて「しゅれいⅡ」「にらいかないⅡ」就航祝賀会が行われ、総勢約三〇〇名の方々にお越しいただきました。

華やかな創作エイサーで幕が開き、主催者挨拶で宮城社長は

「新造船二隻の就航によつて、島嶼県である沖縄の経済を支える総合物流企業として、サービスの向上に一段と効果を發揮し、地域経済の発展に寄与していくたい」と述べました。

挨拶を述べる宮城社長

鏡開き

多くの方にお越しいただきました

翁長専務による閉会の挨拶

来賓祝辞、鏡開き、乾杯挨拶等が行われ、翁長専務による閉会の挨拶をもつて、祝賀会の幕が閉じられました。お越し頂いた皆様に感謝申し上げます。

十一月十三日(月)

新造船「にらいかないⅡ」船内見学会

十一月十三日(月)

「しゅれいⅡ」「にらいかないⅡ」就航祝賀会

十一月十三日(月)

新造船「にらいかないⅡ」就航

十一月十三日(月)

RKK LINE 糸満総合物流センター起工式

十一月十三日(月)

新造船「にらいかないⅡ」就航

十一月十三日(月)

RKK LINE 中城湾港初入港

十一月十三日(月)

新造船「にらいかないⅡ」就航

十一月十三日(月)



長い雑草をやっつけるぞ！



気持ちも晴れ晴れ～お疲れ様です！

十一月二十五日(土)、1950俱乐部のボランティア活動として、県内各地で清掃活動が行われました。1950俱乐部とは、二〇一五年三月に琉球海運を含めた一九五〇年創業の県内七社から始まって結成された委員会であり、地域の清掃活動などの社会貢献活動に取り組んでいます。

今回私たちは本社から明治橋交差点にかけての大通りの中央分離帯を中心清掃しましたが、予想を大きく上回る草の量！普段通勤の際に通

つていていた道路が、雑草生え放題…こんなに草ボーボーだつたとは驚きました。集合は朝早く、作業時間は約二時間。疲れる作業のはずですが、そこはやはり琉海。やるときはやる集団だけあって、長さが腰あたりまであつた雑草たちは見事に私たちの手によつてきれいさっぱり刈り取られていきました♪

朝方は少し風もあつて寒い日でしたが、汗水垂らしながらの作業、皆様お疲れ様でした。



1950俱乐部 クリーンアップ活動



事故対策本部の設置



平成二十九年度 船舶事故対応訓練および 事故発生時模擬記者会見



模擬記者会見のようす

十二月一日(金)本社会議室にて事故発生時模擬記者会見が行われました。この訓練では船舶部が作成した事故シナリオに基づき、年に一度定期的に実施しています。

今回の事故対応訓練シナリオは「みやびⅡ」が高雄港から出航後、大雨による視界不良の中で航行中、小型貨物船と衝突するという内容で、外航を行っている当社としては初めて“国外”での事故を想定した訓練となりました。主に緊急時の連絡先や現地代理店である永安船務

の役割を確認する訓練となりました。事故発生時に對しての模擬記者会見では宮城社長、翁長専務、平原常務が会見し、記者役に選ばれた職員四名からの質問では事故発生時の状況、会社の安全管理体制、乗組員の対応を問う内容が次々に挙がり、安全運航の大切さを再認識しました。

今後も、万が一の場合に万全の備えをするとともに、安全運航への取り組みを続けていきます。

十一月十七日(金)県庁にて、沖縄県官民一体ニユーウェーブ人材育成事業の報告会が開催されました。今回RKKグループから、琉球海運企画部の大湾課長が参加されました。

報告会は、ベトナム・ダナン市国際観光・産業進行施策調査という研修テーマのもと、数ヶ月の事前研修と四日間のベトナム現地研修を行い、「IT・投資」「教育・環境」「流通」「観光」「文化・スポーツ」の分野を五つのグループが発表を行いました。流通の分野の発表テーマは「マーハラル物流拠点・沖縄県を比較し、輸送とイスラ



発表をおこなう大湾課長



共に長い研修をした皆様と一枚



報告会 ～沖縄県官民一体人材育成事業～

ム教を信仰するムスリムの食に対する問題点を提起し、流通の面でどのように展開するべきか、新たな物流の流れを摸索するという内容となりました。

RKKグループとして、海運会社として沖縄県とどう関わっていくべきか、多くの方々に聞いていただき機会となりました。長い期間による研修、本当にお疲れ様でした。



講演をおこなう寺内特別顧問



RKKグループ若手社員の皆さん



琉海・寺内特別顧問による 若手講演会

十一月二十九日(水)ネストホル那霸にて、琉球海運株特別顧問の寺内昌弘氏による講演会が行われました。今回の講演会はRKKグループの若手社員向けということでも開催され、総勢二十三名の参加ものと行われました。

「海運の現場と求められる人材」と題して、万国津梁・先人たちのチャレンジをテーマに、約一時間半行われた講演会は、海運の現場の現状・コントナ船の誕生から、様々な国での

作業形態の違いやRORO船によるシーモレス輸送に関すること、島国である沖縄県だからこそ求められる船舶の在り方など、あらゆる方面からの内容となりました。

RKKグループとしての更なる躍進のために、参加した若手社員の仕事に対する姿勢が改まる良い機会となりました。



講演をおこなう寺内特別顧問



RKKグループ若手社員の皆さん

琉海スポーツ

第16回 尚巴志ハーフマラソン

11月5日(日)第16回尚巴志ハーフマラソンが南城市にて開催され、当社から多くの職員が参加しました。

この日に向けて練習を積み重ね、ついにやつてきました決戦当日。天気は晴れと絶好のマラソン日和となり、沖縄の空が参加者を応援しているようでした。

完走結果は参加人数17名中15名！惜しくも全員完走とはなりませんでしたが、参加者一同楽しんで走ることができました。次回はもちろん全員完走です！お疲れ様でした。



チーム琉海、頑張りました！

第33回 那覇マラソン

12月3日(日)第33回那覇マラソンが開催され、エントリーした当社職員も準備万全で参加しました。

当日の天気はくもり時々雨。太陽こそ微笑んではくれませんでしたが、沿道からのたくさんの応援が背中を押してくれました。その甲斐あって全員完走…とはいきませんでしたが、参加人数12名中8名完走！まずはの結果に次回こそは筆者も…と思ったりしたり。

参加されたチーム琉海の皆様、本当にお疲れ様でした！



スポーツ万能集団、チーム琉海！

新造船就航記念ゴルフコンペ

レセプションの翌日にあたる11月14日(火)新造船就航記念ゴルフコンペが開催されました。早朝は天気が悪く大雨でしたが、後半は雨も上がり涼しくプレーできることだと思います。ゴルフコンペ後は昼食会と表彰式で盛り上がりました。県内外からご参加された皆様ありがとうございました。



社長、大雨の中でのスイング



豪華な景品がたくさんありました。

宮古港運(株)

全国港湾労働災害防止大会「功績賞」表彰



10月20日(金)全国港湾労働災害防止大会が、新潟県にて開催され、弊社徳村専務が「功績賞」を受賞されました。この賞は、毎年安全及び労働衛生管理活動を活発に推進し、地域又は関係事業場において安全及び労働衛生管理水準の向上に功績があった個人に頂ける賞となっております。

徳村専務、おめでとうございます。これからも、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。

琉球海運(株)

出向ミニ報告会～沖縄県庁～

琉球海運より沖縄県に出向している渡具知京介主任による報告会が、11月22日(水)に本社会議室にて行われました。企画部企画調整課に配属されている渡具知主任には、沖縄県が取り組む民間との更なる活性化促進、協働で取り組む協定についての話をいただきました。

行政・民間・沖縄県民のすべてに効果が現れる事業展開の話は、先を見据えた取り組みとして素晴らしいものであると感じられる内容でした。沖縄県で活躍する琉海マンの姿は誇らしいですね。お疲れの中、ありがとうございました。



講演する渡具知主任と参加された職員たち

琉球海運(株)

平中巧主任による国際物流講座

11月29日(水)、沖縄県主催の沖縄国際物流展開人材育成講座の一環で琉球海運の営業部外航課平仲巧主任による講座が那覇商工会議所にて開かれました。

「台湾企業への効率的なアプローチの仕方」というテーマで、台湾の歴史と文化の概要から始まり、そこから生じる日本と台湾とのビジネスシーンにおける商習慣のギャップを自身の体験を元に教授するという内容で外国での営業のノウハウを学ぶことができました。

外国で営業をする上では相手国の文化を尊重することがカギになるということから海外航路を持つRKKグループのさらなる発展に繋がる講座になったこと思います。

